公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団 JR-West Relief Foundation

Press Release

2022年6月21日

2022年度第２回　「いのちのセミナー」
ＷＥＢ配信のお知らせ

誰しも避けられない“老い”に対して、いかに寄り添い、いかに生きるかを演劇を通じて考えるセミナーをWEB配信

「老い」と「演劇」、どのような関係があるのか？劇作家・演出家・俳優であり、介護福祉士である菅原直樹氏を迎え、超高齢社会における、老いた方に「演じる」という寄り添い方の有用性と、やがて訪れる自分自身の「老い」に対しポジティブに捉える考え方について発信します。

1　配信期間　　2022年6月21日（火）14:00　～　9月30日（金）14:00

※「ＹｏｕＴｕｂｅ」による録画配信
（配信イメージ）

2　講　　師　　菅原（すがわら）　直樹（なおき）　氏　劇作家・演出家・俳優
劇団「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰
介護福祉士

〈演題〉　「老いと演劇」　～認知症の人と“いまここ”を楽しむ～

繋がりが近しい方ほど「元にもどって欲しい」という気持ちが働き、認知症に伴う言動をつい正したくなりますが、正すのではなく、相手が見えている世界を受け入れ、尊重することが大切。“老い”に対して、いかに寄り添い、いかに生きるかを演劇を通じて考えます。

「この世は舞台、人はみな俳優」。劇団「OiBokkeShi」は、超高齢社会に「演劇」というユニークな切り口でアプローチしてきました。今年９６歳になる俳優・岡田忠雄さんは、これまで認知症の奥さまを自宅で介護しながら、数々のOiBokkeShiの舞台に立ってきました。演技をする上で大切とされる「いまここをともに楽しむ精神」は、認知症介護のストレスを軽減し、自身の老いをより豊かなものへと変えていきます。みなさんも俳優になったつもりで老いを楽しんでみませんか？

3　講演時間　　約１時間

4　視聴方法　　当財団ホームページ（https://www.jrw-relief-f.or.jp/）からご視聴ください。
※Wi-Fi環境など高速通信が可能な電波の良い所でご視聴ください。※ご視聴にかかる通信料はご負担ください。

5　主　催　等　　主催／公益財団法人ＪＲ西日本あんしん社会財団
協力／西日本旅客鉄道株式会社

【別紙】菅原　直樹 氏 プロフィール

栃木県出身。
劇作家、演出家、俳優、介護福祉士。
劇団「老いと演劇」OiBokkeShi 主宰。
四国学院大学非常勤講師、美作大学短期大学部非常勤講師。
平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。
小劇場を中心に、前田司郎、松井周、多田淳之介、柴幸男、神里雄大の作品などに出演する。

2010 年より特別養護老人ホームの介護職員として勤務。
2012 年、東日本大震災を機に岡山県に移住。
2014 年「老いと演劇」OiBokkeShi を岡山県和気町にて設立し、演劇活動を再開。並行して、認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。さいたまゴールド・シアターと共同し制作した「よみちにひはくれない 浦和バージョン」(2018 年/世界ゴールド祭)、OiBokkeShi×三重県文化会館「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクト（2017 年～）など、劇団外でのプロジェクト、招聘公演も多数実施している。

平成 30 年（第 69 回）度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞（芸術振興部門）を受賞。
平成 30 年度（第 20 回）岡山芸術文化賞準グランプリ受賞。
奈義町文化功労賞受賞。
2019 年度（第 1 回）福武教育文化賞受賞。